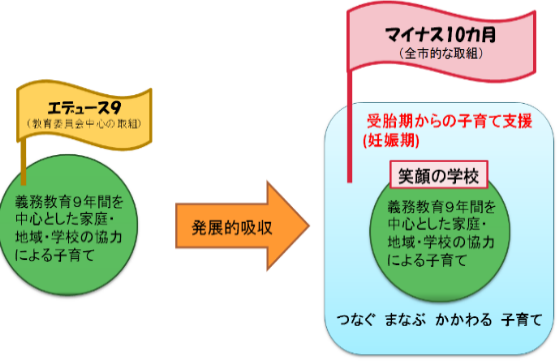


可見市教育基本計画（後期計画）（案）に対するパブリックコメントにより
提出された意見と意見に対する市の考え方について

NO	提出された意見	市の考え方
1	<p>(1) 「エデュース9」から「マイナス10カ月」へ 考え方等全く共感しますが、「Educe9」の表象としての言葉はよく浸透し、シンボリックな合言葉としての意義が大きかっただけに、新たな「マイナス10ヶ月」の旗では 図示的にも偏っている。 シンボリックな表徴(言葉 含)を公募なども合わせて検討すべきである。</p> 	<p>(1) 「エデュース9」から「マイナス10カ月」へ ご意見の中に添付いただいたイメージ図のように、「エデュース9」の取組については、さらに包括的な取組として推進している「マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て」の取組に発展的に吸収していくこととしています。 この計画では、「エデュース9」の旗を「マイナス10カ月」の旗に付け替えるイメージで図説していますが、実質的な意味合いは、「マイナス10カ月」の取組の中で「エデュース9」で培われてきた中核的な取組を継承していくというものです。 なお、これらの取組については、計画の通称名にもなっている「笑顔の学校」のスローガンのもとで推進していくこととしており、市民に浸透し、親しまれるような表徴(シンボルマーク)の作成も進めています。</p>
	<p>(2) 日本一子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育の推進をはじめ、～ 目標の「日本一子どもの心に寄り添う」目標に対してP21以降のH31年目標値のいくつかは 成しえなかったり、物足りなさを感じる。施策番号 I-2.3.4 II-4. IV-1 など 日本一に見合った目標値とするか、日本一の言葉を削除・文言変える 等。</p>	<p>(2) 日本一子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育の推進をはじめ、～ 「日本一子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育」は、本計画の上位の考え方である「可見市教育大綱」で目指しているものであり、その実現を目指す立場から、文言の削除や変更は考えておりません。 ここで言う「日本一」は、数値比較による優位表現として使用しているのではなく、子どもたちの教育に対する教職員等の意気込みや思いの強さなどをあらわしたものです。 なお、目標水準については、環境の変化等もあり、現状維持程度の指標もありますが、計画期間の4年間を見据えた現実的な目標数値として設定しておりますので、見直しすることは考えておりません。ただし、全ての教職員等が「日本一」という意気込みで子どもたちに接していくことができれば、これらの数値も結果的に向上していくものと考えています。</p>

NO	提出された意見	市の考え方
2	<p>(3)「エデュース9」について</p> <p>「エデュース9」の名は、平成14年度から時間をかけて定着してきたものですが、何故後期計画から排除されるのでしょうか。新しい名称は、次の教育基本計画から良いと思います。後期計画にも「エデュース9」の名称を使用して下さい。「エデュース9」と「マイナス10カ月」は何ら矛盾することはないのですから。</p>	<p>(3)「エデュース9」について</p> <p>「エデュース9」については、計画から排除するのではなく、その中核的な考え方や取組は「マイナス10カ月」の取組の中で継承していきます。</p> <p>なお、「エデュース9」の名称については、一部の地域や関係者の間では評価されているものの、子どもたちや教育との関わりが少ない市民に広く定着したとは言い難い状況です。その理由として、言葉自体が市民にわかりにくいことが挙げられます。</p> <p>このため、後期計画では、教育の主役である子どもたちにも理解できる「笑顔の学校」をスローガンとして、子どもたちはもとより、保護者、先生、地域の方々にも「笑顔」があふれるような施策を推進していきたいと考えています。</p>
	<p>(4)「自尊感情」「自己肯定感」などについて</p> <p>P.7 I-2-(3) 前期計画の中では、「自分に自信を持って行動する態度」の「自尊感情」を大切にすることがありますが、後期では「規範意識」や「道徳」など、いわば上から押しつける側面の強調が目立ちます。「自尊感情」「自己肯定感」など、どこかでふれられていますか。</p>	<p>(4)「自尊感情」「自己肯定感」などについて</p> <p>学校生活はもとより、家庭や地域での他者とのかかわりの中で、自らに自信をもち、進んで集団の中で自己を生かす力を身につけていくことは、重要な視点であるととらえています。</p> <p>「自尊感情」や「自己肯定感」の育成については、「基本目標I-施策2-(3)心の教育の推進」で記述している「命の大切さや規範意識などを育む心の教育の推進」のうちの「など」に包括されるものと考えますが、ご指摘のとおり大切な視点ですので、同取組における具体的手段に、次の項目を追加します。</p> <p>(追加項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさを認め合える温かい人間関係の醸成 ・SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)等を通じた社会性や自己肯定感などの育成

NO	提出された意見	市の考え方
2	<p>(5) 図書館サービスについて</p> <p>P. 12 III-3-図書館サービス 前期計画の中では「新図書館の整備に向けた研究・検討」とありましたが、どうなったのでしょうか。「子どもの読書活動推進計画」(案)では、青少年コーナーの充実や障がい児向け・外国人児童向けの図書の充実にもふれられています。また、駅前の子育て拠点施設の乳幼児図書コーナーも出来るのなら、現在の図書館での新たな整備について、書いてほしいと思います。</p>	<p>(5) 図書館サービスについて</p> <p>平成 23 年度から平成 24 年度に、「新図書館の整備に向けた研究・検討」を市職員で構成された懇談会において協議、懇談を行いました。新図書館建設を前提とした具体的に踏み込んだ内容には至りませんでした。</p> <p>その後、総括的に今後の公共施設のあり方を示した「可児市公共施設等マネジメント基本方針」が平成 27 年 3 月に示され、図書館施設も当基本方針に沿って管理、運営していくことになりました。</p> <p>後期計画では、図書館施設が良好に保たれるような予防保全に努め、図書館サービスの提供を充実させることとします。</p>
	<p>(6) 教育委員会の活性化について</p> <p>P. 18 教育委員会の活性化について、平成 27 年 4 月の教育委員会会議から会議録が公開になり、教育委員さん達の熱心なお仕事ぶりに改めて感心いたしました。そこでお願いですが、教育委員さんの待遇改善をして下さい。決まった教育委員会室ありません。PTA役員さんでも各校にPTA室があります。市役所内にも教育委員さん専用の部屋を確保し、仕事がしやすいようにしてあげてほしいと思います。机やロッカー、本棚、パソコンなどを整備して下さい。</p>	<p>(6) 教育委員会の活性化について</p> <p>ご提案いただいたような待遇改善については、委員から申し出はありませんが、委員と事務局の連携を密にしながら、教育委員会の更なる活性化に努めてまいります。</p>